

# クッションマット

厚さ 5mm／7mm／10mm／15mm

サイズ 1m×5m

施工要領書

長尺透水性ゴムマット

# クッションマット(長尺透水性ゴムマット)

## 施工要領

### 目次

1. 運搬・保管	P-1
2. 注意事項および下地の確認	P-2
3. 接着剤	P-3
4. 工具	P-4
5. 施工	P-5
6. メンテナンス	P-7
5. 注意点	P-8
6. 接着剤施工マニュアル	P-9

## 1. 運搬・保管

- ・ 退色、変色のおそれがありますので直射日光は避けて冷暗所に保管してください。
- ・ クッションマットは初期に太陽や照明の強い光りにより若干黄色味を帯びることがあります。したがって、施工前に一部だけ包装を解いた状態で放置すると色むらの原因になります。
- ・ 製品重量は t5mm×5m でも20kg あります。製品転倒時にケガをする恐れがありますので、横にするか、立てておく場合には転倒防止措置を行なってください。
- ・ クッションマットは製品の特性上、端だけを持って強く引っ張ったり、折りたたんだりすると伸びたり裂けたりすることがありますので無理な扱いはご注意ください。

## 2. 注意事項および下地の確認

- ・ クッションマットには透水性があるため、冬期に水分を含んだ状態では凍結により表面が滑りやすくなる場合があります。寒冷地で施工の場合には、下地の水勾配等に留意して使用してください。
- ・ 施工後に水がたまる場合は冬場の凍結で、クッションマットが破損する恐れがあります。また、水分によってバインダーが白く変色する恐れがあります。
- ・ 下地は接着の障害になるような凸凹、段差がないように調整してください。
- ・ 油分、ゴミ、ほこり、水分を取り除いて乾燥した状態で施工してください。
- ・ 鋼板や樹脂等の下地は表面の目粗し等処理を行なうことをお勧めします。

### 3. 接着剤

- ・ クッションマット専用接着剤「クッションボンド UR-1」を用意しておりますので、ご必要の折は弊社までお問い合わせください。
- ・ 「クッションボンド UR-1」は空気中の水分と反応して硬化するので、水分の混入には注意してください。
- ・ ウレタン系の接着剤ですので、施工するときの温度は 10℃～28℃をお奨めいたしません。特に 5℃以下のときは施工しないようにしてください。
- ・ やむを得ず施工する場合は接着剤を温めて施工し、施工後は接着剤が硬化するまで 5℃以上を保つように保温してください。
- ・ 身体または衣服に付着した場合は、直ぐにシンナーをウエスに含ませて拭き取ってください。
- ・ 引火性の溶剤が入っていますので火気には十分注意してください。

- ・ オープンタイムの目安

季節	オープンタイム	貼り付け可能時間
夏(25℃以上)	5～10分	30～40分
その他(5℃～25℃)	10～20分	40～60分

注) 接着剤に触れてみて、粘着性があるうちは貼り付けが可能です。

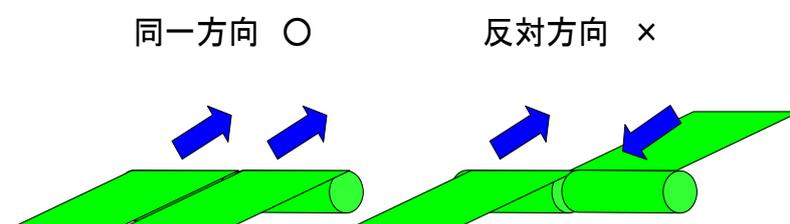
- ・ 接着剤の塗布量はおよそ 0.5kg/m<sup>2</sup>→1 缶(5kg)でおよそ 10 m<sup>2</sup>になります。下地の種類や凹凸によって調整してください。

## 4. 工具

- ・ 使用工具は下記のを標準とし、下地や接着剤に合わせて専用のものを使用してください。
  - ほうき、またはブロアー(接着面の清掃用)
  - くし目コテ(接着剤の塗布量に合わせて専用のものを使用する)
  - カッター・エッジカッター(端部や調整部の切断に使用する)
  - 定規(端部の切断に使用する)
  - ローラー(貼り付け後の転圧に使用する)
  - 皮すき・角メス・クレセントナイフ(余分な接着剤などを取り除く)

## 5. 施工

- ・ 貼り付け(割付)は常に同じ側からはじめてください。
- ・ それぞれのものは隣接するものと同じ方向に敷いてください。
- ・ クッションマットは連続ラインで製造しておりますので、多少方向性が生じます。また、巻き癖による端部の起きあがりが生じないように表面を巻きの外側になるように巻いてあります。展開時は外側が表面になるようにして同一方向に展開してください。



- ・ まれに色合いの違うものがあります。そのようなときは違うフロアや違う場所などに施工する等調整を行ってください。
- ・ 切断の際は墨線を描き、線に沿って金属定規などできれいな直線に切断してください。
- ・ 貼り付け前に割付をして、角や柱などの形に合わせて切断する場合は、無理に引っ張らずに、足でよく踏み均し、なじませてから切断してください。無理に合わせて切断すると接着時にすき間があいたり、角や柱の形がずれたりする原因になります。
- ・ 施工には接着剤メーカーの指示に従ってください。  
(クッションボンドUR-1の施工マニュアルを抜粋して記します)
- ・ 貼り合わせは一度にマットを半分めくり、接着剤を塗布してください。
- ・ 余分な接着剤はウエス等で拭い取ってください。
- ・ 製品が変形するおそれがあるので端だけを引っ張ったり、折り曲げたりしないようにしてください。

- ・ 次の製品は中央付近から位置決めし貼り合わせてください。
- ・ ゴム床材は弾性がありますので伸び縮みがあります。接着後の寸法安定性は良好ですが、接着前には1ロールに対して±30mm 程度の伸びができる可能性があります。あまり引っ張らずに自然の状態でなじませて貼り付けてください。
- ・ 中央から位置決めした後、マットの継ぎ目に沿って注意深く押し込み、張り合わせてください。(図-1)
- ・ 継ぎ目の部分に隙間をつくらないように、しっかりと押し込んでください。
- ・ 貼り付け・押し込み後、ローラーで転圧してください。(図-2)  
(端、巻き癖等浮きが発生する可能性がある場合は、浮き防止のために1～2時間後に再転圧してください)
- ・ 隅部や端部等は小手ローラーなどで注意深く転圧してください。端部の継ぎ目等で、床材の巻き癖が強く、再転圧を行っても納まりが悪いときは重しを置いて押さえてください。

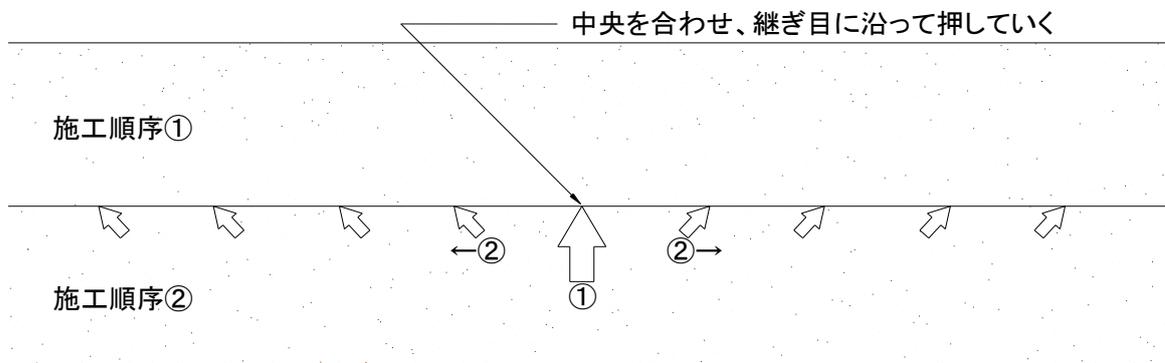


図-1

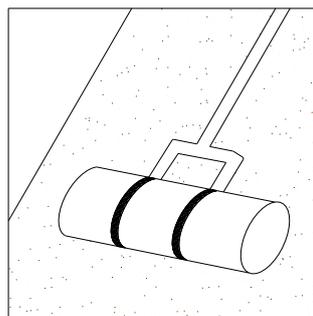


図-2

## 6. メンテナンス

- ・ 製品の特性上、砂、ホコリ等がたまりやすい形状になっています。その場合は掃除機もしくは高圧洗浄機等で取り除いてください。
- ・ 透水性はありますが、万能ではありませんので、水がたまる場所や常に日陰の場所ではコケが発生する場合があります。
- ・ コケが発生した場合には、ナイロン等のやわらかいデッキブラシで軽くこすって水洗い清掃してください。
- ・ 使用状況にもよりますが、表面のゴムチップは数年経つとはがれてくる場合があります。その場合には樹脂コートを塗布してオーバーレイをお勧めします。
- ・ 穴や破れがひどい場合には部分的、あるいは全面の張り替えをお勧めします。

## 7. 注意点

- ・ 製品の特性である透水性、弾力性のため、強度は万全ではありません。軽歩行用途を目的としていますので自動車の走行等強い衝撃には適していません。
- ・ 上記の理由により、使用条件の厳しいところではゴムチップのはがれが発生し、製品寿命が短くなる場合があります。
- ・ 透水性はありますが、水を流すものではありませんので、下地は透水性または水勾配のある場所をお勧めします。水たまりができる場所での使用はコケの発生や白化、凍結の原因になります。
- ・ 製品は滑りにくくてありますが、冬期に水たまりができる場所では凍結して滑りやすくなる場合があります。
- ・ カラーゴムの特性上、色によってはすぐに変色したり、退色したりする場合がありますので、あらかじめご承知願います。

## 8. 接着剤施工マニュアル(クッションボンドUR-1)

クッションボンドUR-1は、クッションマット専用接着剤として開発された1液湿気硬化型特殊ウレタン接着剤です。特に、初期粘着性能に優れ、耐久性能が良好です。

### 性状

外観	灰色粘調液体
主成分	特殊ウレタン樹脂
主溶剤	酢酸エチル、トルエン
粘度(mPa・s/25℃)	15,000～35,000
蒸発残分(%)	73.5±5.0
比重(20℃)	1.38±0.1

### 特長

- ① 粘着性が強いので、初期接着性に優れています。
- ② エポキシ樹脂接着剤と同等以上の耐水性能を有しています。
- ③ ウレタン特有の弾性を持っています。
- ④ 広範囲の下地に対して密着性に優れ、塗床、ウレタン防水の上にも施工できます。

### 下地について

○ 適応可能下地・・・モルタル、コンクリート、塗床、ウレタン防水、コンパネ等

× 適応不可能下地・・・アルミ板、磁器タイル等

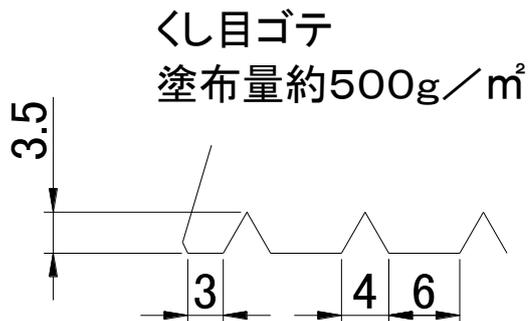
△ 注意が要る下地・・・

- ① メタノールを溶剤とする接着剤を塗布した床。  
完全に固化して、メタノールが含まれていない場合は施工可能です。
- ② 既設床材の上  
表面のワックス等を取り除けば施工可能です。
- ③ 鉄板の上  
錆、油等を取り除けば施工可能です。
- ④ 既設床材を取り除いた場合  
ゴミ、ほこり等を取り除き、凸凹、段差を修正すれば施工可能です。

⑤ モルタル、コンクリート

含水率が10%以下になるまで十分に乾燥させる。(含水率10%以下となるのは  
下地施工後、1階土間は4週間、2階以上は3週間、デッキプレートは6週間、  
冬期はさらに1週間必要)

### 塗布量について



標準塗布量 500g/m<sup>2</sup>(モルタル面)・・・約 10 m<sup>2</sup>/5kg 缶

(下地状態により、若干異なります)

下地に凸凹が多い場合、多めに塗布する必要があります。

### オープンタイムについて

季節	オープンタイム
夏 (25~30°C)	5~10分
春・秋 (15~25°C)	10~20分
冬 (5~15°C)	10~20分

※ モルタル下地を基準としています。

巻き癖の強い床材や鉄板やウレタン防水、塗床、既設床材上等の溶剤が下地に浸透しにくい場合の施工はオープンタイムを長めにとってください。

尚、作業環境によってもオープンタイムは変わりますのでご注意ください。

## 張合せ可能時間について

季節	貼り付け可能時間
夏 (25～30℃)	30～40分
春・秋 (15～25℃)	40～60分
冬 (5～15℃)	40～60分

※ モルタル下地を基準としています。

### 判定の仕方

接着剤に触れてみて、粘着性があるうちは張合せが可能です。

## 転圧について

張合せ直後にローラー(50kg以上推奨)等で十分に転圧をかけてください。  
端、巻き癖等の浮き防止のため、1～2時間後に再転圧をかけてください。  
特に巻きぐせの強いもの場合は2～3時間後に再転圧が必要です。

## 仕上げについて

床材(製品)表面に付着した接着剤は、硬化する前にヘラ、ウエス等で必ず取り除いてください。

## 養生について

季節	硬化時間
夏 (25～35℃)	約1日
春・秋 (15～25℃)	約1日
冬 (5～15℃)	約2日

※ モルタル下地を基準としています。

特に冬場で下地の湿気が少ない場合や、非吸水下地(塗床、鉄板、重ね張り等)では、硬化が少し長く(プラス1～2日)掛かります。

重歩行は夏で2日、春～秋で3日、冬期で4日間は避けてください。

尚、環境状態により硬化時間は変わりますので、余裕を持って施工をお願いします。

## 保管について

直射日光を避け、5～30℃のところで保管してください。

長期保管し、沈殿、分離がある場合は、よくかき混ぜてからご使用ください。

品質保証期間は密封状態で製造日から6ヶ月ご使用いただけます。

保管中、表面に皮膜が張る場合もあります。

(その他注意事項の③参照)

## その他の注意事項について

- ① クッションボンドUR-1は、空気中の水分と反応して硬化するので、水分の混入は避けてください。
- ② クッションボンドUR-1は、メタノール等活性水素を持ったものと反応しますので、特に、メタノールを溶剤とするほかの接着剤と一緒にしないでください
- ③ 保管中および開封後、表面に皮膜が張った場合は、皮膜を取り除いてからご使用ください。
- ④ 身体に付着した場合は、直ぐにシンナーを少し含ませたウエス等で拭き取ってください。
- ⑤ 引火性の溶剤が入っておりますので、火気には十分ご注意ください。
- ⑥ 気温が5℃未満では、硬化が遅くなるため、重歩行の養生にはご注意ください。